

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 5-5(215)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和5年9月1日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

「てるてるくらぶ」による紙芝居と人形劇の公演

照島小学校では7月19日(水)に「てるてるくらぶ」による大型紙芝居と人形劇を11名の方が全校児童を対象に熱演されました。

今回は紙芝居「しんちゃんの三輪車」と人形劇「あらしのよるに」の2本立ての構成でした。紙芝居は、三輪車で遊んでいた3歳の子供が被ばくし、亡くなった悲しい話です。

人形劇は、嵐の夜、友達になったオオカミとヤギの話です。「食うもの」、「食われるもの」という関係ながら友情を深めていく、温かい話です。

子どもたちは、真剣に聞き入っていました。

「しんちゃんの三輪車」では、悲しく感じたせいか、うなだれている子供もいました。

人形劇は、躍動するオオカミとヤギが舞台から飛び出る動きを楽しみました。最後に6年生が感想を述べ、人形劇では「動物の動きが楽しかった」、紙芝居では、「戦争は絶対やってはいけない、ウクライナ戦争は、早く止めて欲しい」との意見がでました。

「てるてるくらぶ」ではこの公演のため、何回も打ち合わせをされ、練習を積み重ねられてきたそうです。子どもたちの豊かな想像力を醸成することが大切とのことでした。また、毎週木曜日には、照島小学校で朝読みをされ、子どもたちの育成にも協力されています。

今回の紙芝居や人形劇に使う道具はすべて手作りで、音楽素人とは思えないすばらしい劇でした。「てるてるくらぶ」会員は現在14名。平成14年から活動され、読書活動推進への功績に対し、多くの表彰を受けられ、昨年4月には文部科学大臣賞に輝いています。



暑い中、熱演の皆さんとくぎ付けの子供たち！



オオカミとヤギが飛び出してきました！

生冠タイム個別課題発表会

生冠中学校では7月8日（土）に1年生14名が体験学習した福祉を題材にした発表会を実施しました。題材は、認知症とその症状、車いすの操作方法、高齢者への対応、補助犬・介助犬についてです。ボランティア活動についてパワーポイントにまとめて4分以内で発表しました。

全員が初めての機会であり、自信なさそうな生徒もいました。又、専門用語の説明も入れてまとめた生徒もいました。

参加頂いた学校運営協議会委員の方々から下記の講評を頂きました。

- ① 入学後3か月だが、素晴らしい発表内容でした。
- ② 全体的に声が小さいです。せっかくの場ですから、顔をあげて堂々と発表してください。
- ③ 調べる事も大事ですが、自分の考えを持つ事も大事です。
- ④ 早口の人があります。4分間をフルに活用し、自分をアピールしてほしい。
- ⑤ 認知症の人は身近にあり、接する機会がありますが、話しをしてもかみ合わない時があるかもしれません。責めないで、やさしい声掛け等に心掛けてください。

来年も同じ機会がありますので、今回の経験を活かし、プレゼンの更なるレベルアップを期待したいと思います。

学級 PTA 時の託児支援

照島小学校では、7月11日に1年生2名を受け入れ、ボランティアの方が面倒を見ました。当初は、9名を受け入れる予定でしたが、インフルエンザの発生により、人数が少なくなりました。国語の宿題を済ませた後、当方で用意した絵プリントを用いて、間違い探しをしました。ボランティアの方も一緒に間違いを探しましたが、最後の1か所がどうしても見つからない絵があり、残念な思いをしました。

1年生2名の女子は、すっかり学校に慣れたようでした。体育と図工が大好きとことで、校歌も完璧に覚え、歌えるとのことでした。ちょっとの間にりっぱな1年生になりました。



緊張の発表の時間



学校運営協議会委員の方々



宿題どうですか？分かりますか

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
 地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)